

ブレイクアウトルームで出たさまざまな智慧・体験のシェアなどなどメモにお使いください

問い: “と `うやってコミュニティは 持続していくのか? “と `うやって育て `いく?”

自分の経験や想い、大切にしていることを中心にシェアしてくた `さい

ブレイクアウトルーム1

■あすかさん ブラジル カポエラ 日本では金沢に実家がある ブラジル8年目

お金がない人とやっていると、トラブルが多い。コミュニティとしてやりたいけど、今まで機会がなかった。パーマカルチャーはお金がある人たちのもの。地域のコミュニティには広まらない、馴染まない。プランターで野菜作ること難しい。長続きしない。忙しい。

■よしこさん TT京都 ジュレーラダックの活動 京都ご飯会

・コミュニティが拠り所。持ち寄りご飯会、毎月続けられている。自分がしんどい時、ごはん会に参加すると、思いを聞いてくれる場所、家。そこだと話ができる。場所を提供してくれている。裏でいろいろしてくれている方に感謝。洛西自然農園、農作業、いい時間。仕事しているとなかなかない時間。自分の意見を聞いてくださる。みんなで楽しく過ごせる。

■つんつん TT豊中・小浜

・活動だと思っていない。やめるという選択肢がない。味噌部、胡麻部などママさんたちがやっている。私は行っていないけど、見ているとコミュニティがあることが安心につながっているように見える。

■みかえ TT藤野

ベースができれば勝手に動いて行っている感がある。例えば地域通貨、このネットワークがとても大切だから、続けていきたいとそれぞれが思っている。だから続ける。

やらないと続いていけないということもわかりつつ、やることが大変だけれども、やめられないし、やりたい。

やっているとたくさんの人に出会う。仲間が増える。そうすると勇気をもらえる、元気が出てくる。

ブレイクアウトルーム3

SG/TT文京/カンパニア サウル

・もやいの活動を始めた。

TTいなぎあさお/SG しょごちゃん

・障害児の支援をしている

藤野 Aokaさん

・イギリス留学の際にトットネスを訪れ、その後藤野に。

・エコビレッジに関心がある。

墨田区 じゅんじゅん

・日本リ・ファッション協会(2009年):だれもが自分の幸せをできるような社会を目指している

・震災後は東北支援を行っている。

・仲間が自死したり、癌が分かったりしてしんどい状況

Aokaさん

・エコビレッジに関心があって、どうしたら継続していけるのか。

- ・民主主義的なものがあるのか、何か哲学があったらいいのか。

じゅんじゅん

- ・コミュニティを持続していくのは難しい。
- ・15周年と聞いて、逆に知りたい。

- ・同じ思いで始めたのに、何かあると代表の責任になる。

しょうちゃん

- ・どのコミュニティでも同じようなことが起こっている。
- ・コミュニティ同士が繋がることが新しい。可能性を感じている。
- ・今は自分は繋げる役割。

サウル

- ・続けようという人の意思。

Aokaさん

- ・どうやったら続いていくのだろう
- ・しょうごさんがはなしてくれたような楽しさ？

しょうちゃん

- ・人のつながり

じゅんじゅん

- ・いいね。という周りの反応。尊重する感じ。

サウル

- ・なんで続けているんだろう？
- ・言葉にならない何かが続けさせているのかも。

ブレイクアウトルーム5

TT京都 くろさん／ぬまっち(東京大田区)コーチング／あいな

- 内面の活動をしている人たちと外面と活動をしている人との接点を持ちにくい
- [IDGs\(SDGsの内面版\)](#)スウェーデンの活動
- 知らない言葉を知ることができる、聞いたことがあっても語れない言葉たちが登場
- 対立葛藤に関心がある、仲介していく仕事
- あなたはこっち、私はあっちという分断がある
- 短期的な視点が多すぎて、それによって別のところが傷つくことがある
- 福祉の仕事をしているから、人との葛藤はある
- ミディエーター、仲介者、

テーマ2

- 新しい人に任せる
- 場に来た人が楽しかった、また来たいと思える場が必要
- 見えてる範囲で不思議なこと:そこまでルールがない感じ、それが秘訣なのかな
- トランジションタウン、全国にあるけど各地違うことがやっている
 - 自由すぎるが故の不安
 - 持続可能な社会を目指す活動ではあるのかな
- 人が集まると正しさの基準ができてしまう
- ほっとしてしまうとなんでもありになってしまうのでは？
- 握っている手がゆるい気がするから、ふぁっと解散してしまうのでは
- 誰か強い思いを持っている人が引っ張っていくコミュニティもあるかもしれないが、それだと持続可能ではないのでは
- ハードに頑張る、しっかりやってる系の組織もある

- チェンドリのプログラム参加することで、心が動き出して、誰かと何かをやるきっかけになる
- コミュニティは流動的でもいいのでは
- そこにあり続けるタイプのコミュニティをつくりたいから続けたい
- 京都だとテーマ別にサークル的なものではなく、運営側が省エネで、持ちよりご飯会をつづけていった、
- 新しい人のネタを活かす

ブレイクアウトルーム4 Round2

toshiくん、ひでさん、しゅんろう

- ・楽しくなければ持続可能ではない
- ・お互いのエネルギーを大切にする(エネルギーがなければ続けなくていい)
- ・自分ができることをできる時にできる範囲内でやる
- ・ミーティングで自分が持っているテンションについて正直に話す(その場を作る)
- ・**Doing** だけではなく**Being**を大切にする。(チェックインなど)
- ・無理しない

ブレイクアウトルーム6 ヒデさん@上田、たけさん@八王子、かつし～@小平

- ・ヒデさんからま～ゆのお話。500人ぐらいいたけど入ったり出たりで実際は150～180人ぐらいで去るもの追わずの方針。人を否定しない、人の意見を排除しない。意見が違って当たり前。例えばま～ゆの中には原発反対の人もあるけど、排除はしない。最近あまり人に突っ込んではいないかもしれない。もともとは本当の豊かさってなんだろうから出発していて、お金やモノではないというところからスタートしているのが根っこ。
- ・タケさん：誰が上出したかもない、それを体現し続ける、いろんな人がいてもいいということ。あと、こつこつとやり続ける人がいることが大事。**SG**の場合ややすもり(つかちゃん)がずっとシンポジウムをしていた。そういう人がいるということが続く秘訣だと感じている。
- ・ま～ゆは**20**年代表を続けた安井さんから自分に引き継いだ。
- ・タケさん：疲れたから代表を辞めたのかも。
- ・やすもりが参加者がいてもいなくてもコツコツやり続けている人がいることが偉大
- ・定期的に集まれる場所があることと、そこに人がいるということ
- ・ま～ゆ：地域通貨は人と人をつなぐ道具。送迎をしてもらったりで人と人がつながっていく。

ブレイクアウトルーム8

- ・のこ(赤松さん)@大阪／児童養護施設ボランティア14年
- ・はっしー(橋岡さん)@兵庫県加西／自然農
- ・ラーマ(桑原さん)@千葉船橋／SG監事、SVP東京パートナー
- ★持続可能なコミュニティを育てるには：焚き火やキャンプファイアーの比喻。起こした火を守る、ファイアキーパー。
- ★コミュニティはトップダウンだとうまくいかない。こうしたいを押し付けるのは違う。みんなのやりたいことや意見を聞いて、組み上げる、調整をできる人のほうがよい。
- ★時には誰かが引っ張っていく時期も必要。
- ★思いさえつながっていれば、火は消えない。
- ★焚き火の薪として、お金、経済を回すことも大切。**SG,TT**に寄付をお願いします！

ブレイクアウトルーム9

- しょうこさん
AUP スコシズツプロジェクト
いろんなものを次の世代に引き継ごうとしている
藪漕ぎをするから、ずっとホールドするよりは作り出したものを次の世代の人に引き継いでいきたい
なるべく手放そうとしている

- りんさん
今ようやく土づくりから育み始める感じ。続ける、というよりも今からスタートな感じ。
アズワンやTT,SGに関わる中で思うのは、「続けよう」としなくても大丈夫。
続くものは続いていく。
森のように、自然と育まれていく。
自分が自然であれば大丈夫。
つながりを取り戻すワーク、自分自身とのつながり、他者とのつながり、自然とのつながり。
瞑想、畑、歌、フラ、身体感覚から自分にかえることができる。

- こうへい
暮らしに根差したコミュニティを作りたい。
コミュニティの中で生まれた嘆きをコミュニティの中で聞きあえることが大切。
それができなくなると爆発していなくなるということがおこる。
コミュニティの中の痛みをどう扱うか。
関わっているけれどもど真ん中でない人にファシリしてもらおう。
ローカルのおじいちゃんやおばあちゃんも含んだところでどう実現するか。

フレークアウトルーム〇番 じろうさん、照
コスパ、ハイパ、お金に関わらないつながり、計算しない
出る杭は、打たれる。
南阿蘇の経験から今回は、極力裏方に徹する。
楽しくつながる!!!
賛成、反対ではない!!!